

若 鮎

発行所 宇都宮短期大学附属高校
編集委員会 宇都宮市睦町 1 番 35 号
印刷所 坂本共栄社印刷所

海外交流 特集号

国際理解と交流を図るため、ことし本校では数々の催しが行われました。まず五月には本校と姉妹校であるニュージーランド・マヌカウ市のホーウィックカレッジから初の訪問団を迎え、一行のためにホームステイや授業参観など全校あげて温く受け入れました。また、七月には第二回のホーウィックカレッジへの訪問研修旅行、さらにインターアクトクラブでは韓国を訪問するなどして、大きな成果を上げました。

国際交流に大きな成果

ホーウィック カレッジ から初の訪問団 本校も N.Z. 研修へ



須賀校長先生から歓迎のことばを受ける一行

ニュージーランド再訪



校長 須賀 淳

七月二十三日、本校の二年生三十二名と一緒に、一年ぶりにニュージーランド・マヌカウ市の地を踏んだ。昨年ホーウィックカレッジと姉妹校提携式に臨むために訪れたときの緊張感はない。再訪であり、また先方からもマヌカウ市長夫妻やホーウィックカレッジの方々が宇都宮の本校を訪れていたので、お互いに顔なじみである。

七月二十四日、マヌカウ市長臨席のもとに行なわれたホーウィックカレッジにおける歓迎式にも、ロケットランの方に出席していただいたし、その夜のホーウィックカレッジクラブの例会にも私たち三人が出席し、友好関係提携の申し入れを行った。

幸いにしてホーウィックカレッジクラブには、ホーウィックカレッジの校長先生と副校長先生のお二人がメンバーとなっておられる。こんごの本校とホーウィックカレッジとの国際交流のバックアップにより、いっそう強固なものと思われ。

本校の生徒の皆さんも、本校在学中における国際交流の成果を生かして、これからの国際社会に活躍してほしいと願っている。



グラント先生から校長先生に記念品が贈られる

歓迎のことば 須賀校長先生から

一行は団長のニール・グラント教務部長、アラサディ・ア・マックレーン副校長の両先生ご夫妻が職員五名生徒十五名。

五月十一日夜成田に着いた一行は、その夜は宇都宮市のサイクリングターミナルに宿泊、十二日の日曜日午後一時ホームステイのホストファミリーが待つ本校に來校しました。

須賀栄子記念講堂の小ホールで須賀校長先生から、「よくいらっしゃいました。心から歓迎申し上げます。」とのあいさつがあり、これにこたえて団長のグラント先生がマヌカウ市長からのメッセージを披露し、ついでマックレーン副校長先生が「昨年姉妹校の提携のため、皆さんに来ていただいたお礼を兼ねて研修にまいりました。皆さんにお会いでき、こんなうれしいこと

はありません。短い期間ですが、日本のすばらしい歴史や文化を吸収して、楽しい思い出を持ち帰りたいと思います。」と訪問のことばをのべました。

つづいて訪問団メンバーの皆さん一人ひとりについての紹介があり、さつきよくホームステイのホストファミリーとご対面です。一行のなかには昨年こちらからお訪ねした際お世話になったホストファミリーの生徒もいて、お互いに抱き合っ

て再会をよる喜びあふ光景も見られました。

その夜はホストファミリーの人たちにあたたかく迎えてくれたの第一夜を過ごしたのでした。

翌十三日、職員室で一行は本校の先生方に紹介され、生徒たちは担当の本校の先生方にもなわけて各ホームルームへ。

ここでクラスの皆さんを紹介され、なかにはタダドしいながら日本語でも自己紹介をして拍手を浴びるなど、なかなか雰囲気の中で用意された机に着いて授業参観のスタートです。

午後は須賀校長先生の案内で、宇都宮市役所に増山道保市長を表敬訪問し、市長から、それぞれ記念メダル



ホームルームで、本校の生徒に紹介されて、さあ授業参観

こうして、この日から学校内外での十日間にわたる盛りだくさんの研修プログラムに從って皆さん一生懸命がんばっておりました。

本校では最後の日となった十八日に、午後七時からさらにニュージーランドの自然と文化、そして皆さんの温かな人情に直接触れ、数々の楽しい、そして貴重な体験をしてまいりました。

今回皆さんが宇都宮市と本校においでくださり、名実ともに両校の親善交流が（緒）についていけます。

WELL BEGUN IS HALF DONE (始め良ければ半ば成功)の諺どおり、皆さんの当地での滞在が短期間ながら私たちの社会、文化、生活の理解と友情を深めるために実り多く、思い出深いものになりますよう、学校とホストファミリーともどもお世話いたしてまいります。

これから皆さんと二週間家庭で共に過ごすことになるホストファミリーの方々がここにお集りです。日本の思い出の中で、恐らくホームステイが最も大きな部分を占めることになると思われ

増山宇都宮市長にマヌカウ市長のメッセージを伝える

日本はいま一番美しい若葉の季節です。

昨年私は本校の生徒二十名と一緒に皆さんのお国のマヌカウを訪れ、ホーウィックカレッジと本校との間で姉妹校の友好関係を結び、先生、生徒ともどもご家庭や学校にお世話になり、

宇都宮市のコンセーレ(新青年会館)で市役所と共催のサウナパーティーが催されましたが、一行を囲んで本校の先生や生徒、ホストファミリーの人たちが一堂に会して名残りを惜しまれました。席上本校音楽科の榎間良子さん(三年)が四名による弦楽四重奏がありこれに對して一行はニュージーランド国歌や、日本語で「春のうららの…」などをご披露くださいました。

十九日の日曜日はホストファミリーとそれぞれ自由行動をとり、益子焼きの見学や市内見物、ボーリングなどを楽しみました。その夜はサイクリングセンターに移り宿泊。

二十日東京デイズニールアンド見学とあわただしいスケジュールも無事終了し、一同多くの思い出を胸にひめて二十一日午後五時二十五分成田から帰国の途につきました。

ぜひご家族やお友だちをお誘いのうえ、多数お出かけください。

推薦入試 12月13日から
一般は 2月1日、3日

本校の平成四年度入学試験は、推薦(音楽科を除く各科)が十二月十三日(金)または十四日(土)のいずれか一日(出願順により異なります)。また一般は来年度二月一日(土)(音楽科実技のみ)と三日(月)(音楽科を含む各科)に行われます。いずれも試験科目は国語、数学、英語の三教科で、マークシート方式です。

学校祭は
11月9・10日

本校の教育内容の成果と学校生活の一端を広く皆さんに見ていただくこと、今年も学校祭が十一月九日(土)、十日(日)の両日、学校を広く開放して行われます。スローガンは「知的冒険」。

会場となるのは、本館、西陳、体育館などの外、須賀栄子記念講堂で、各学級、各部、各委員会が趣向をこらした展示物や催しが繰りひろげられます。

とくに、例年多方面から好評を博している本校名物の食堂も小ホールで開設され、調理科のみなさんが腕を振るうことになっております。

今回は「国際交流特集号」を皆さんにお届することになりました。姉妹校のニュージーランド・ホーウィックカレッジから初の訪問団二十名を全校あげて受け入れたのははじめ、本校からは同様に第二回研修団を送り、またインターアクトクラブは韓国を訪問するなど、数々の活発な活動を行いました。

それらのレポートを中心に編集しましたが皆さんのご協力に感謝いたします。

(委員長 高橋一茂)

○歓迎演奏会(音楽科)
音楽科では十五日の四限目を使い、記念講堂大ホールで歓迎の演奏会です。五十嵐紀子先生のプロデュースで、音楽科二、三年生全員が出席し、三年十七組の高橋美由紀さんが代表して、歓迎のことばを述べた後、演奏に移りました。
ピアノ、バイオリン、フルートなどの個人演奏のあとは華やかに全員の合唱で

○ソロバン教室(情報商業科)
五月十五日の三限目は小ホールでのソロバンを学ぶ。情報商業科一年二十組の皆さんと一緒にソロバンを握って江連 彌先生の読み上げた数字と取り組んでいました。また、渡辺明子さんが三ケタ、四ケタの計算をあっという間に暗算でやっのけるのにはびっくり。
ソロバンと電卓を見比べながら、簡単に機能的なソロバンには、すばらしいと感嘆しながらも、乗除の位どりが、なかなかのみ込めない人もいたようでした。

○着付け教室と調理教室
五月十六日の第二限。生活科二年九組の着付け教室に出席した一行は本校生徒の浴衣や振袖の着付けを見学したあと、さっそく自分たちも万里子先生や永島利子先生などのご指導で着物を着て大よろこび。会場の家庭科特別教室は日本語と英語が飛び交い、華やかなムードが満ちあふれていました。
この間、一行のうちたった二人の男子生徒であるヤ

○剣道教室
十五日に第二体育館では野田泰典先生による剣道の授業も見学しました。フェンシングとはまた違った日本古来の剣道には皆さん興味をもったようですが、竹刀をにぎって素振りをしたり、試合の時のポイントはどこかなどコトコマかに質問していました。

○茶華道教室
この日のイベントの目玉はなんと四限目も小ホールで三、四限目に開かれた茶華道教室でした。
先ず華道部の指導をしてくださった小月月雲、上野操雲両先生から活け花の基本について説明があり、華道部員十名とともにさっそく実習です。小さな花器を使って自然の美を表現する活け花には、大へん興味をもち、一生懸命にとり組んでいました。
ついで同じ会場に設けられた茶席で、磯 茂江先生のおさやかな英語による解説のあと、茶道部員によるお手前の披露です。
普通科二年一組の庄田亜紀子さんのお手前、知念綾子さんの半室(補助)、そして伏木政枝先生のご指導で十名のおはこびと、皆さんが「一期一会」のお茶の心でおもてなしいたしました。

○着付け教室と調理教室
五月十六日の第二限。生活科二年九組の着付け教室に出席した一行は本校生徒の浴衣や振袖の着付けを見学したあと、さっそく自分たちも万里子先生や永島利子先生などのご指導で着物を着て大よろこび。会場の家庭科特別教室は日本語と英語が飛び交い、華やかなムードが満ちあふれていました。
この間、一行のうちたった二人の男子生徒であるヤ

授業参観あれこれ



海外にも知られるティーセレモニーを満喫

ング君とハムリン君は、調理科の実習授業を見学し、盛んに「これ何」「あれ何」と質問しておりました。



先生も生徒も一緒にお花を活ける



人気のあった着付け教室では万里子先生もお手伝い



ソロバンは便利だが、乗除の位取りが難しいとのこと

日程

- ① 5月11日(土) 成田着、宇都宮サイクリングセンター(泊り)。
- ② 5月12日(日) 須賀栄子記念講堂小ホールで歓迎会とホストファミリーとの対面。ホームステイへ。
- ③ 5月13日(月) ホストと登校。職員室で紹介。各HRで授業参観。先生は校内見学。午後市長訪問。バスケット、バレーボール、卓球の親善試合(本校で)。
- ④ 5月14日(火) 午前 日産自動車工場見学。午後 宇都宮市内でショッピング。
- ⑤ 5月15日(水) 午前 授業参観(ソロバン)。午後 授業参観(演奏会)。大谷観音見学
- ⑥ 5月16日(木) 午前 授業参観(着物の着付け教室、料理実習)。茶華道体験(小ホール)。午後 栃木県子ども総合科学館見学。
- ⑦ 5月17日(金) 日光見学。
- ⑧ 5月18日(土) 午前、午後日光江戸村見学。夜、サヨナラパーティー
- ⑨ 5月19日(日) 午前 ホストファミリーと自由行動。午後 サイクリングターミナル集合(泊り)
- ⑩ 5月20日(月) 東京ディズニーランド見学。サイクリングターミナル(泊り)。
- ⑪ 5月21日(火) 正午 県中央公園集合、出発 午後 成田発帰国。

ホームステイ

ミッチェル・マウンスさん(2年生・16歳)＝普通科3年4組、小野仁美さん宅＝小野さん宅が弓道具のご商売をしているので、珍しいジャパニーズアーチェリーを手にとり、一生懸命に手ほどきを受けていました。
デボラー・リンチさん(1年生・15歳)＝普通科3年7組、柴田育美さん宅＝柴田さんご一家がお父さまに、お母さま、妹さんのほかに、おじいさま、おばあさまもご健在で「孫が一人ふえたみたいだ」と喜ばれていました。
アンドリュー・ヤング君(1年・15歳)＝普通科2年1組飯塚通直君宅＝では宇都宮でも数少なくなった兼業農家の飯塚君の家が珍しく、とくにまだ使っていたコタツには興味があったようです。



34名が参加

第二回ニュージーランド研修旅行

第二回ニュージーランド海外研修旅行は七月二十二日から八月三日まで行われ、熊倉誠一、五十嵐紀子両先生の引率で二年生三十二名が参加しました。また須賀校長も本校との縁で宇都宮西ロータリークラブがマスカタリークラブと友好関係の締結のため、ロタリークラブの渋谷、田崎両会員とともに同行されました。校長先生は二度目の同地訪問で、ホーウィックカレッジで、ホーウィックカレッジで、

- 立つので皆さん一生懸命でした。
- 研修旅行参加者名**
- 飯塚通直(普)、水嶋真人(普)、萩原 崇(調)、佐藤 法道(調)、藤森祐紀(普)、松田 学(普)、伊沢隆由基(調)、増田尚貢(調)、堤安土(普)、石田恭子(普)、神保かおる(普)、井波由佳(調)、福富百々子(普)、石塚真理子(普)、松本素子(普)
 - (普)稲葉智美(生教)、井上直美(普)、田村洋子(普)、(普)関恵美(調)、大森みどり(普)、山本あずさ(普)、田中庸子(普)、後沢利理(普)、倉光栄子(調)、古沢桂(普)、斎藤かおり(普)、杉 静恵(調)、高田正江(調)、増淵葉子(普)、縄田 恵(普)、茅根久英(調)、斎藤香代子(普)



新青年会館でのサヨナラパーティーで国歌を合唱する一行

敬老の日にプレゼント

生徒会(福田有美会長)では敬老の日恒例のプレゼントをいたしました。七十歳以上で同居しているお年寄りが対象ですが、今回は職員、高校、中学の生徒のご家族で八百十三名になりました。最高齢者は三年十八組、中茎明子さんのおばあさま、九十六歳。

インター・アクトクラブ員韓国へ



景福宮を見学するインターアクトクラブの皆さん

三年前から行われているインターアクト韓国研修旅行は、七月二十七日から三十日まで国際ロータリー第二五五地区インターアクト委員会の主催で実施されました。宇都宮西ロータリークラブ、インターアクト委員長樋口周二先生のお世話で本校の顧問、大崎雄昭先生と金子真由美さんらインター



ホーウィックカレッジの日本語教室で